

歴史を訪ねて...

笠岡市の文化財



遍照寺の梵鐘
県指定重要文化財
(工芸考古)

西の浜にある遍照寺の、仁王門につられている青銅製の梵鐘（つり鐘）は、室町時代に鑄造されたものです。胴体に銘文が刻まれています。それが、それによると、永享四年（一四三二）に、津宇郡撫河郷（現在の津宇郡）の早島町鶴崎神社の鐘として鑄造されたことが分かっています。

江戸時代に小寺清之の著した『備後略記』には、遍照寺の鐘について「古城山にて使われていたという。城主（村上氏）は、早島のあたりで戦った記録があるので、かの地の鐘を奪って帰ったのであろう。」と記しています。（戦国時代に）笠岡城主村上氏がこの鐘を早島から戦利品として持ち帰り、城で使っていた、という伝承があったようです。

さらに、西明院所蔵過去帳のなかに、この鐘は「西明院につつていたが、吉祥院の快昌が取り持って遍照寺に移した。」という内容の記述があります。記述の年代から推定すると、このできごとは遍照寺の仁王門が再建された元禄五年（一六九二）頃のことであったと思われる。こうして梵鐘は、丑寅御前から笠岡城、西明院を経て遍照寺にたどり着いたと推定されます。

展覧会と行事のご案内

<特別展>

彩艶 金谷朱尾子
うつつろ心

会期中～11月24日(月)
月曜日休館(ただし11月3日、
24日は開館し、11月4日は休館)
開館時間 9:30～17:00
(入館は16:30まで)
一般800円(前売700円)
市内在住の65歳以上の方は入館無料です。

ワークショップ(実技教室)
大人のためのデッサン教室
講師:藤川汎正氏
「人を描く」

11月16日(日)13:30～16:00
参加費1,000円(入館料を含む)
※要申込み

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

岡山生まれの日本画家・金谷朱尾子（1953～2004）は、岡山の洋画家達と一緒に、また後には神奈川県藤沢市まで通って人物デッサンを繰り返しました。

この「想変相図」は、一見強く鮮やかでありながら、女性の視線やポーズにはどこかうつろな印象がたまたまいます。朱尾子が女性を描くとき、確かにモデルとなった人物が存在しながらも、描かれた人物はモデルの特徴を超えて、朱尾子の想いを全身で代弁する存在となります。

朱尾子本人は口数の少ないもの静かな女性であったといいますが、残された数々の作品には、朱尾子の聡明さと強い想いが表れています。



金谷朱尾子
「想変相図」
昭和55年 個人蔵

へ特別展 彩艶 金谷朱尾子 うつつろ心

竹喬美術館みどころ7

今月の表紙

子どもたちの大好きなはしご車や救急車、ポンプ車がやってきた。

9月27日、カブトガニ博物館恐竜公園で消防写真大会が行われ、市内外から保育・幼稚園児、小学生ら約200人が参加しました。

普段間近に見ることのない消防車にみんな大喜び。じっくりと観察して画用紙いっぱい思い思いの車を描いていました。

作品は11月10日～17日まで笠岡シーサイドモールに展示されます。

係から

先日、子どもたちの運動会に行きました。本番までの限られた時間で踊りやかけっこなどちゃんと演技できるよう指導する先生方に感心しつつ、子どもたちの一生懸命に演技する様子に元気を分けてもらいました。

(土)

発行日/平成20年11月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。